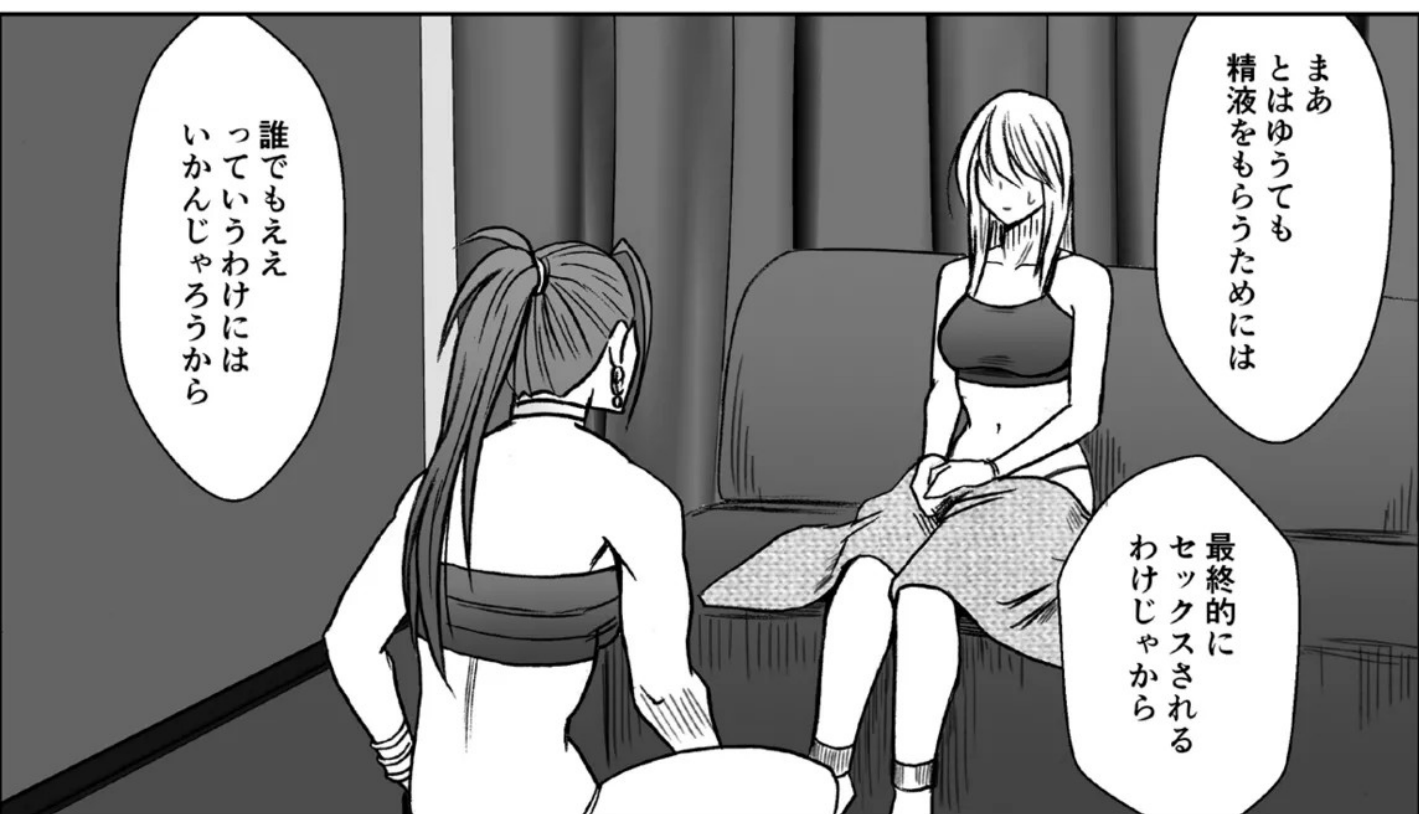
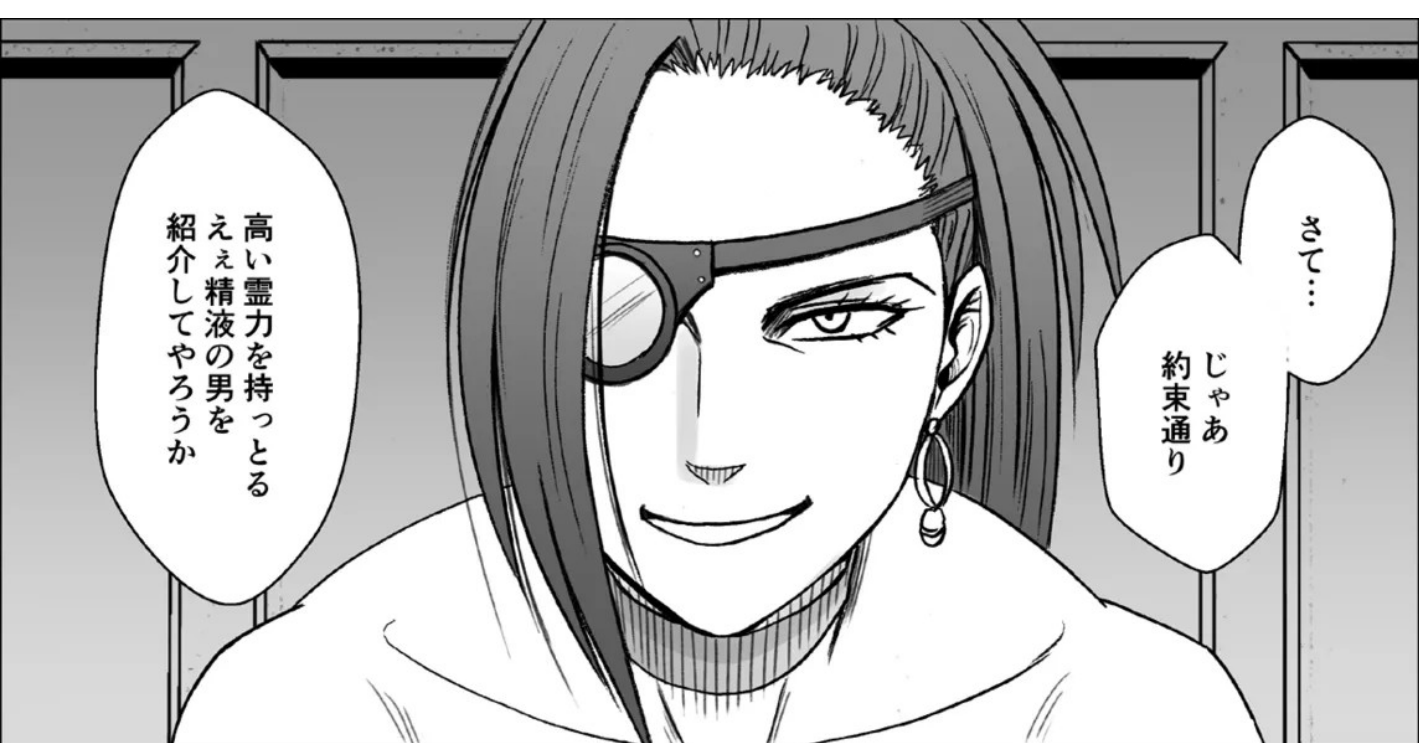




退魔士カグヤ極8

ルートB 正義のヒロイン公開陥落編





選択肢その1

退魔士協会
最強の霊力をもつ
ジジイ

まあ
これは
とくに説明は
いらんか

こいつはとにかく
純粹に強いから

精液をもらえれば
まあ
間違いなく
霊力は復活
するじゃろ

問題は
この男が性欲が
強すぎるクズだって
ことくらいかの？



選択肢その2

退魔士じゃない
ただの一般人だけど
隠れた
霊力の高い男

こいつは
退魔士じゃないし
霊術とかは
全然つかえんけど
生まれ持った
素質だけは
あるタイプじゃ

ただ
この男は社長で
忙しすぎて
カグヤちゃんが
好みじゃなかったら
相手にされんかもしれんな？

で：
選択肢その3
これはちよつと
特殊な方法じゃ

さっき
妖術でつくった
ペニスで犯されたと
思うが

あれを
今度は神聖な霊力で
つくりだして

そこから
精液を
生み出して
そそぎこむ方法

自分のカラダから
練り上げた精液であれば
効果は確実じゃ

ただし問題は
時間はかかりそうなこと
じゃな

さあ
どうする？

最強の
退魔士

霊力の高い
一般人

霊力精製ペニス

……
私は…

その…

さあ

どれを選ぶ？

カグヤ極

最終章

私が選んだのは
選択肢の②

霊力の高い
一般人

FLYME
away

どれも
恥ずかしいことには
変わりないんだけど

消去法的に
まだマシなものを
選んだつもりだった

でも…

その紹介された
一般人の男というのが…

ガッ



まさか
愛しのカグヤちゃんが
自分から

私の精液を
欲しがって
やって来てくれるとは
思わなかったよ？



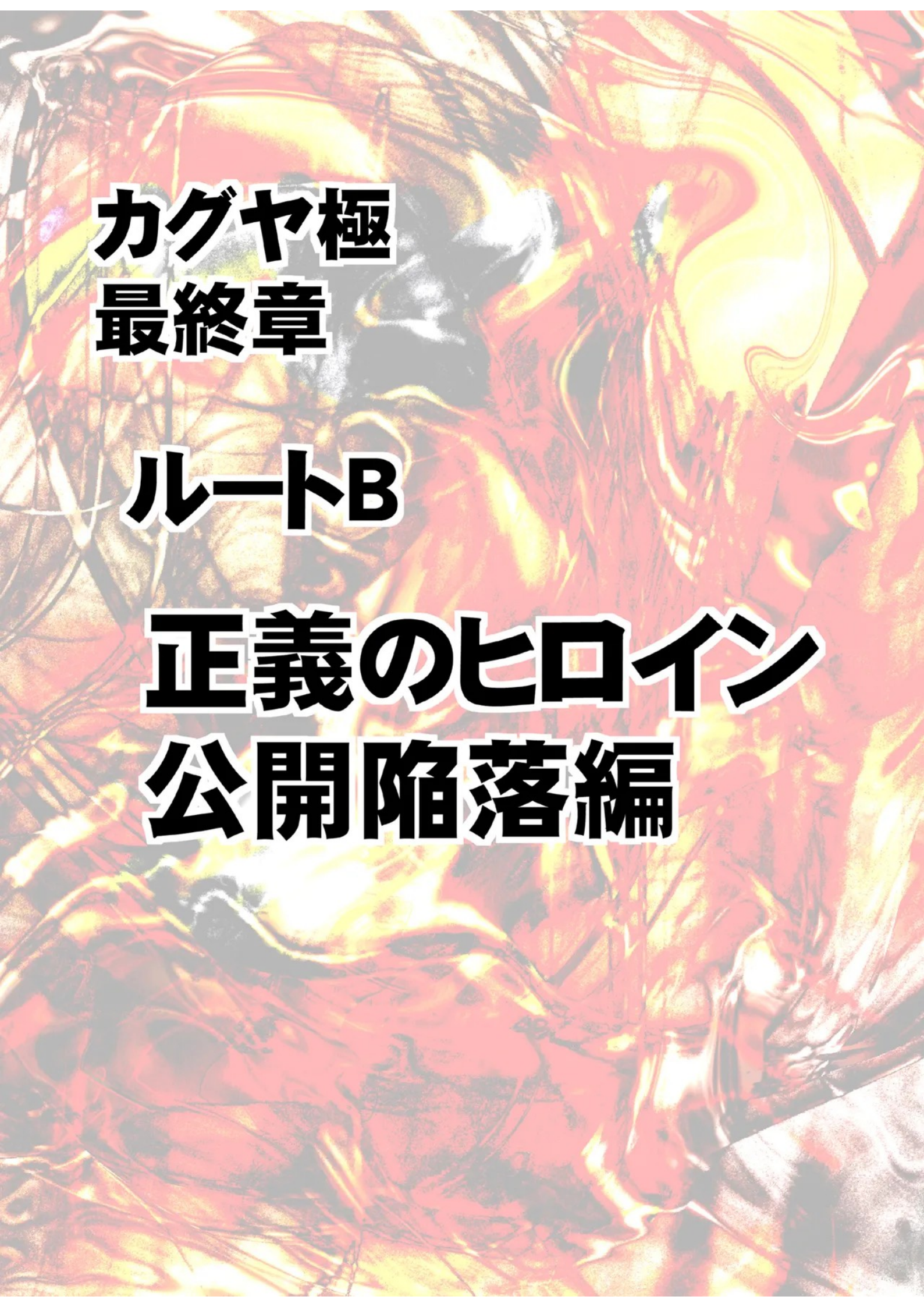
待っていたのは
虎道大慈

以前
私に特殊なプレイを
要求してきた
変態社長だった



じじいすねば……！

じじいすねば……！



**カグヤ極
最終章**

ルートB

**正義のヒロイン
公開陥落編**

フッフ
こうみえても
私は多忙からね

普通の女だったら
わざわざ
こんなふうに
時間を使ったり
することはないんだが

まさか
紹介されるのが

よりによって
この男だったなんて…

カグヤちゃんは
特別だよ

カグヤちゃんは
私におって
理想のスーパー
ヒロインだからねえ

知ってれば
この選択肢は
選ばなかったのに…!







我慢…！

我慢したいけど…

ああ…！
ダメ…！

この男には
以前たぐさん
弄ばれて…

最後に私に
やられてから
どのくらいの男に
弄ばれたのかな？

全部正直に
言いなさい
グフフフ

全部…！

カラダの隅々まで
知られてるから…！

イヤなのに…！

カラダが勝手に
思い出して…！



あの時の快感が
蘇ってきて…!!

止められない!!

お…お願いします!
もう
許してください!

早く中に
出してください!



ああ…カラダが…!!

思い出したくないのに
思い出してくる…!!

グフフ
ダメだよ
ダメだよ

せっかく
カグヤちゃんが
自分から私のところに
来てくれたんだ

いわばこれはもう
完全合意セックス

このままじゃ私……!

またあの時みたいにな

たっぷり
じっくり
楽しまないと

カグヤちゃんの
カラダがあれから
どうなったのか

全部
調べつくしてから
中出ししようね

数えきれないくらいイカされる!

あゝ
あゝ
あゝ
あゝ
あゝ



そして
そこから私は

長時間
カラダ中の性感帯を
チェックされ

すべての性感帯で
絶頂に達することを
確認されて…

以前なら
何ともなかったような
箇所でも
ウソみたいに
気持ち良くなって





数々の
妖魔や人間たちに
弄ばれてきた
私のカラダはもう

情けないくらいに
弱点だらけに
なっていることを

イヤというほど
思い知らされて



いろんな場所を
いろんな方法で
責められる

それでも
アソコの中だけは
刺激してこなくて

それが
もどかしくて…





夜の九時から
はじまった
その快樂拷問は

朝の五時近くまで
続いて…

疲労と
反比例するように

感度だけは
上がっていった



カラダ中の
ありとあらゆる箇所
イカされたけど

唯一
刺激されずに
放置され続けた
アソコの中が
疼きすぎて

我慢できなく
なってきた…

いつまで
焦らすの!?

もう…!

もう…!

もう無理!



おねがいします...
もう...!!

ください!!

おちんちんを
ください!!



中出しチ●ポを
カグヤちゃんのおま●こに
入れてあげよう



それでは
おまぢかねの



演技じゃない
心の底からの
声だね

グフフフ
これはこれは



さあ 愛しの
カグヤちゃん

とびきりの快感を
受け入れるー

.....!!

心の準備は
いいかな？

ズルッ



ガマンできない！



もう分からない！



ああ……！

イヤ……！

イヤ……

イヤなの……？



欲しい...!!



ああ！

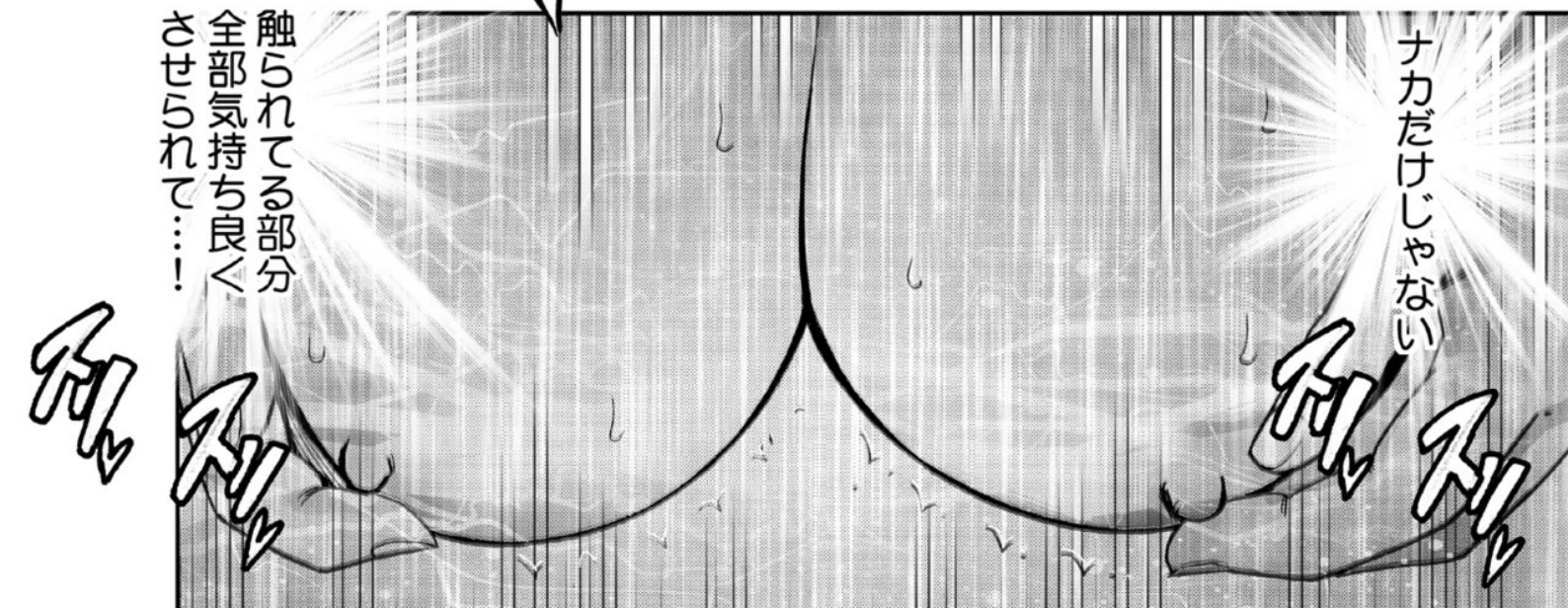
これ…！

気持ち良すぎて！

カラガが
おかしくなってる！

イクッ！

ナカでイク！



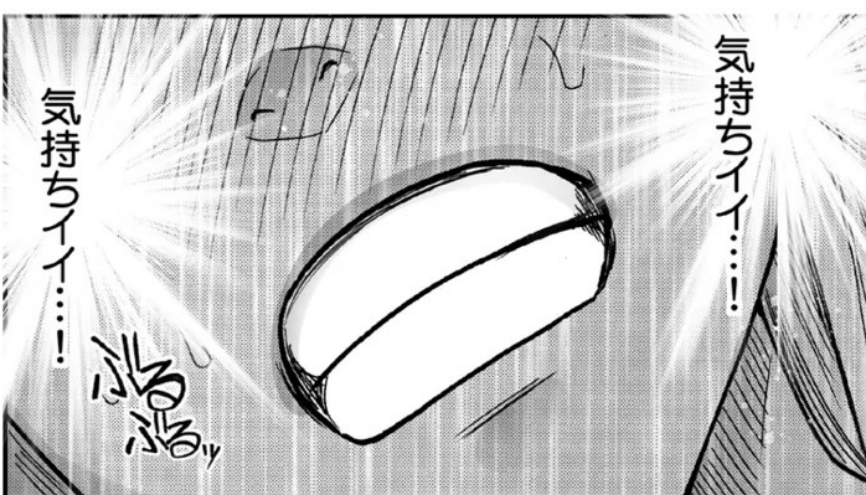
ナカだけじゃない

触られてる部分
全部気持ち良く
させられて…！



こんなの
もう！

普通にしたら
耐えられない！



気持ちいいことを
全部

受け入れるしかない！



この男は
精力絶倫で

長時間されることは
覚悟してたけど

本当に終わらなくて

挿入されたまま
3時間イカされ続けて…





ああ……!

イク……!

はやく
ナカに……!

アッ

E-11



フッフ
カグヤちゃん
ずいぶんと
スケベになってきたねえ

ダメだよ
そんなにスケベに
なったら

カグヤちゃんは
スーパーヒロイン
なんだからね

スーパーヒロインは
清く正しく
気高い存在でないと
グッフフ

あとで
しっかりそれを
思い出して
もらうからね



とりあえず
一発目を

中に…!



射精された瞬間に

あまりの気持ち良さで
情けない声を
出しながら
意識を飛ばされて

たしかに
この男に秘められた
霊力は高かった
みたいで

中を精液で
満たされると同時に
不思議な安堵感で
満たされて：

完全完璧な
シチュエーションで

理想のセックスプレイを
愉しませてもらおうか
ウハハハ

これからだよ
カグヤちゃん

新しい協力者も
いることだし

フフフ

**カグヤ極
最終章**

ルートB

後編

そして…

私が目を
覚ました時

…!?

何がどうなっているのか
まったく分からない
状況で…





え？

それは
なんだ？



それにこの服は……！？

街の中……？

私は虎道の
屋敷にいたはず……！

ドキドキ

なんとなく
虎道の趣味で
こうなっているの
であらうことは
予想できる

それでも
はつきりとした
確証はなくて……
ただ戸惑うだけで……



現状を把握する
間もなく

突然の轟音が
街中に響き渡る



現れたのは

大型の妖魔

フウウウウ

どうして
こんな大型の妖魔が
街の中に……？

まったく
状況が読めないけど

霊力も
すこしは回復しているし

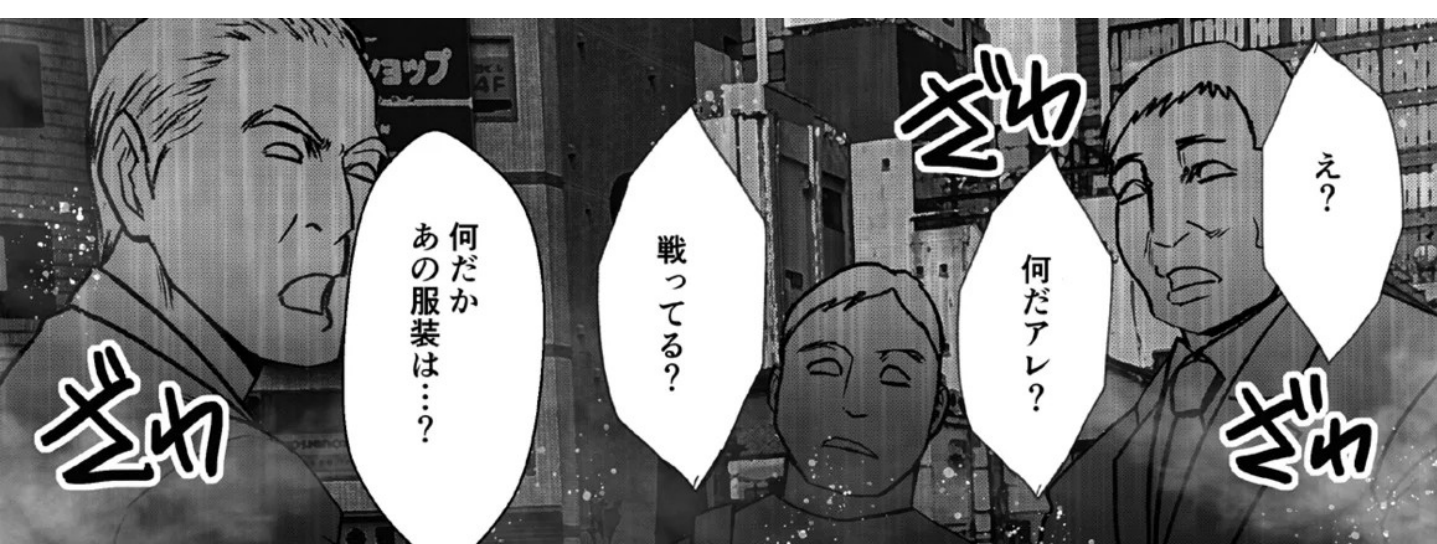


戦える！

ここで私が

みんなを
助けないと……！





何だか
あの服装は…?

戦ってる?

何だアレ?

え?



そして
現時点で
出せる全力を
使い果たして

なんとか
討伐に成功した





そのとき

!!!



ざわ
ざわ

.....!
!?



何...?
?

え...?
?



突然

透明の結界壁に
閉じ込められて

その場から
逃げられなくなって



手足の動きを
封じられて…

透明の触手が
絡みついてきて



もう抵抗できない！



くっ！

さっきの戦いで
力を使い果たして



透明の壁に
囲まれて
逃げることもできないし…

これ…何なの？

え？何コレ？

ガラス？

見られることを
拒否することも
できない！

いつの間…？

ざわ

ざわ

やっ……！
まずい！

この状況は……！

あの女の子
どうしたんだ？

さっきまでの
戦いで
みんなの視線が
私に集中してるから……！

ざわ

ざわ

何が
おこってるの？

苦しんでる？

ざわ

ざわ

このままじゃ……！

また
大勢の前で
恥を……！

ズル
ズル

ズル
ズル





一度諦めたカラダはもう

抵抗力が無さすぎて……！





イク……!

簡単にイカされる!

ズズズ

ズズズ

ズズズ

ズズズ

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

7lv

ああ…!

このままじゃ
なす術もなく…!!

この触手の妖魔は
何が目的なの!?

分からない…!

気持ちよすぎて
もう何も…!!





ああ！

イク！

イクッ！

もう
自分じゃ分らないくらい
乱される！





視界がぼやけてきた
そのとき

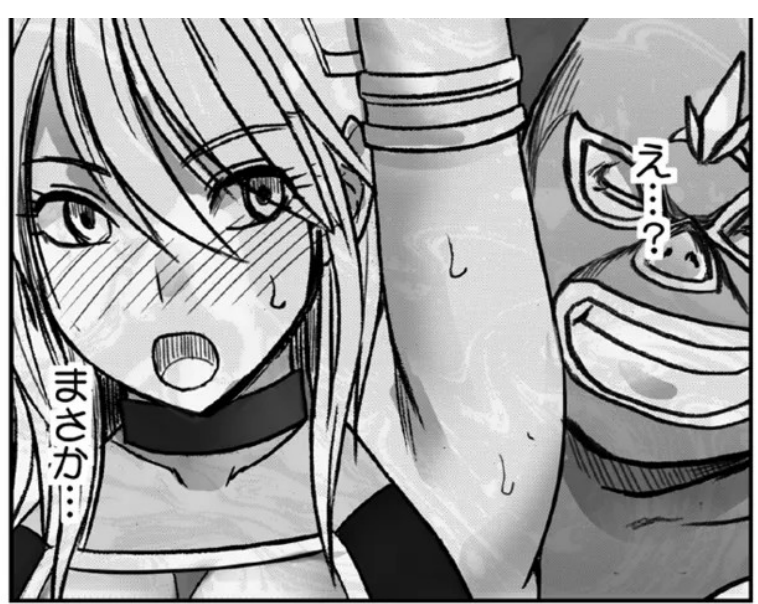


気持ちよさと
混乱とで
呆然とした状態になり



突然
結界壁の中に

一人の男が





これは
夢だったんだ

以前から
ずっと私は



街の中で突然現れた
怪獣を颯爽と倒す
みんなのヒロインを

そのまま
街の中でレイプする…
そして—



知っての通り
私は
子どもの頃から

スーパーヒロインが
やられることで
異常に興奮する性癖



それを
民衆に
見せつける

そんな
シチュエーションを
やりたいと
ずっと思っていたんだ



この度
似たような趣味を持つ
半妖の協力者を
得たのでね

すべて
お膳立てをして
もらったんだよ

どわ
どわ

どわ
どわ

ん...

うん...



ただ
私に犯されて
恥辱を受けることだけに
集中すればいい



おい！

何なんだ
あの男！

この壁
どうなってるんだ！？



妖魔がこれ以上
襲ってくることもないし

民衆が傷つく
心配もしなくていい

ということでは
もう安心していい

フフフ
さあここからは
みんなの
正義のヒロインが

抵抗する力を
失って

ただの
スケベおじさんに
やられちゃうよ？





グフグフ
ココをグリグリ
しちゃうと
潮を吹いちゃうね

.....!!

ぐわ
ぐわ



潮を吹いちゃうと
もう

この悶えは
痛みで悶えてる
わけじゃなく

やめてッ!

快感で
悶えてるって
分かったちゃうねえ

ブルブル

ヤッ!

びく

びく

びく



ダメ...! この人には...

ああああ



弱点が完全にバレてる……

簡単にイカされるから……！

ほら
派手に潮吹きながら
イこうか

どうするとも出来ない！



グフフフ

はっ

はあ

はあ

派手に
潮吹いたね



ざわ ざわ

これで
誰の目から見ても
カグヤちゃんが
イキまくってるのが
バレちゃったね



もう
隠そうと
ガマンするのは
意味ないよ?

気持ちよくて
どうしようもないんだったら
声もガマンしなくても
いいんだよ?





この男がただのセックスだけで
終わるなんて思ってたけど

まさか街の中でこんな変態プレイを
計画してたなんて…！





乳首クリクリだけで
イキまくって
潮をびゅっびゅっ
させてしまう

カグヤちゃんの
スケベなカラダを
見せつけてやるんだ

カラダが完全に
負けを認めてる……!!

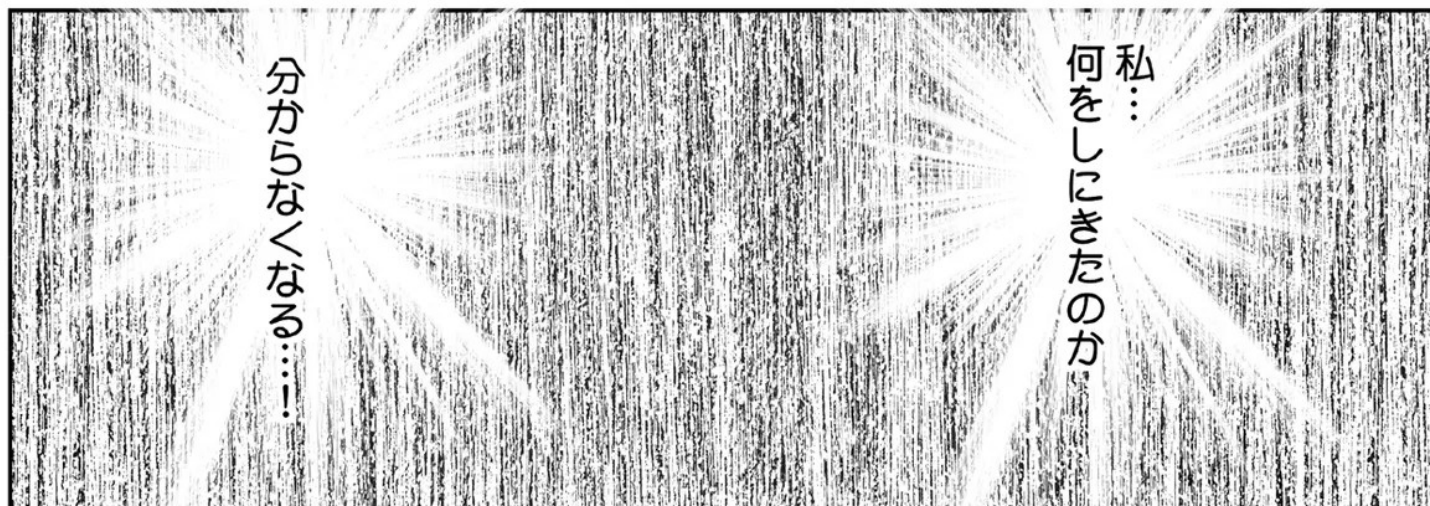
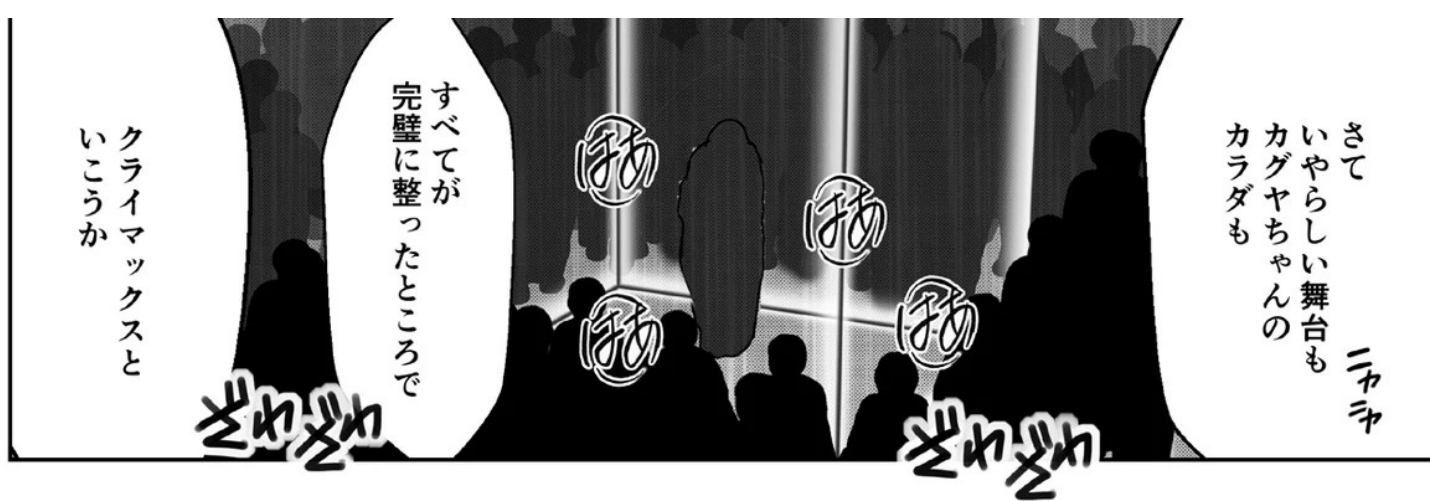


みんなを守った
正義のヒロインが
悪いオジサンに
イタズラされて

乳首イキで
ガニ股潮吹き

これは
恥ずかしいねえ♡

カラダがこの男を受け入れてる……!!









ああああ…もう…!!



あああ…!!



え?

今…
おちんちんいれ…
みたいに言わなかった?



ちよつと
待つて…アレ…

もしかして…?

入れてない?

マジで…?

挿入!?

今ここが
街の中で

大勢の人に
見られてることも

全部
忘れそうになるくらいに……!!





さっきまで
自分たちを助けてくれてた
ヒロインが

わけの分からない
オジサンに犯されて

歯痒かったり

何も出来ずに
無力感を感じたり

ただただ
可哀想に思ったり





それでも
目の前で行われる
卑猥な行為に

性的な興奮が
抑えられなかったり♥







ああダメ!

イク!



恥ずかしいのに!

乳首でイクッ!

ナカでイクッ!

イッてる!

イワところ
見られてる！

見られてるッ！







ほら
チンポでグリグリされて
潮を吹き出しなさい

みんなの前で
ただの
オジサンチンポに――

清純で崇高な
是帶不可侵な
ヒロインマンコが

屈服するところを
披露するんだ

ああ…ダメ

こんなのダメなのに！

気持ちよすぎて
全部吹き飛びそうになる…！！





み…見ないで…!!

まだまだ
羞恥心が
残っているようだね



イク…!

イク…!

イクのが
止まらない!



カグヤちゃんの
マンコに
完全敗北を
与えてやろうか



じゃあ
もっともっと
恥ずかしいポーズで

結合部分が
バッチリ見えちゃう
ポーズで

ヤッ…

グッ

グッ



…もっしー！

気持ち良くなることしか
考えられないッ！

ズンズン

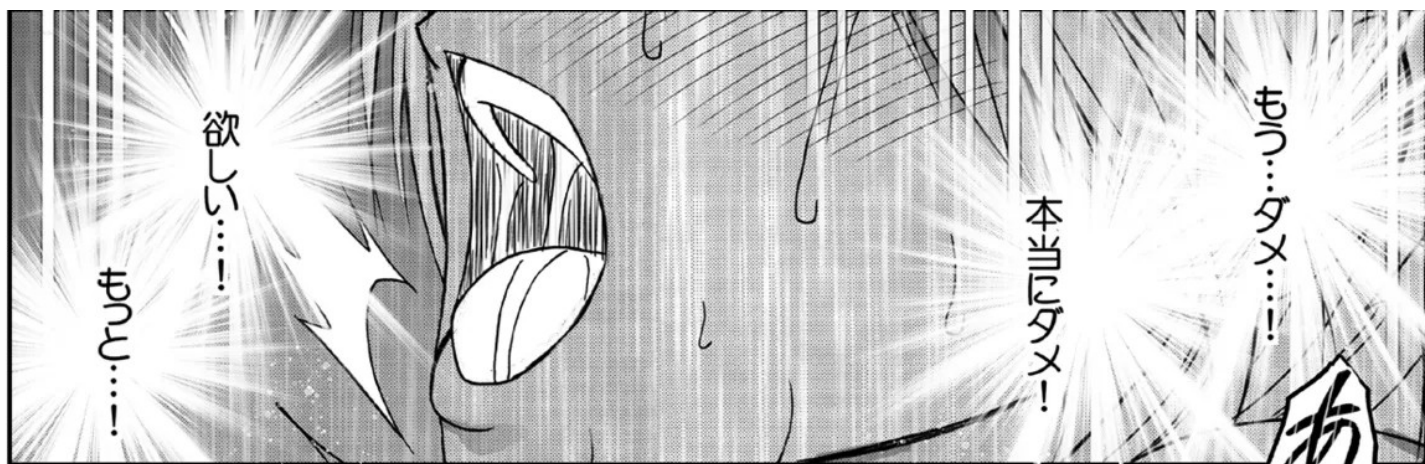
イクッ！

イクイクッ！

ズンズン

グググ

グググ



もう…ダメ…!!

本当にダメ!

欲しい…!!

もう…!!



ガマンできない!!

ズンズンズン

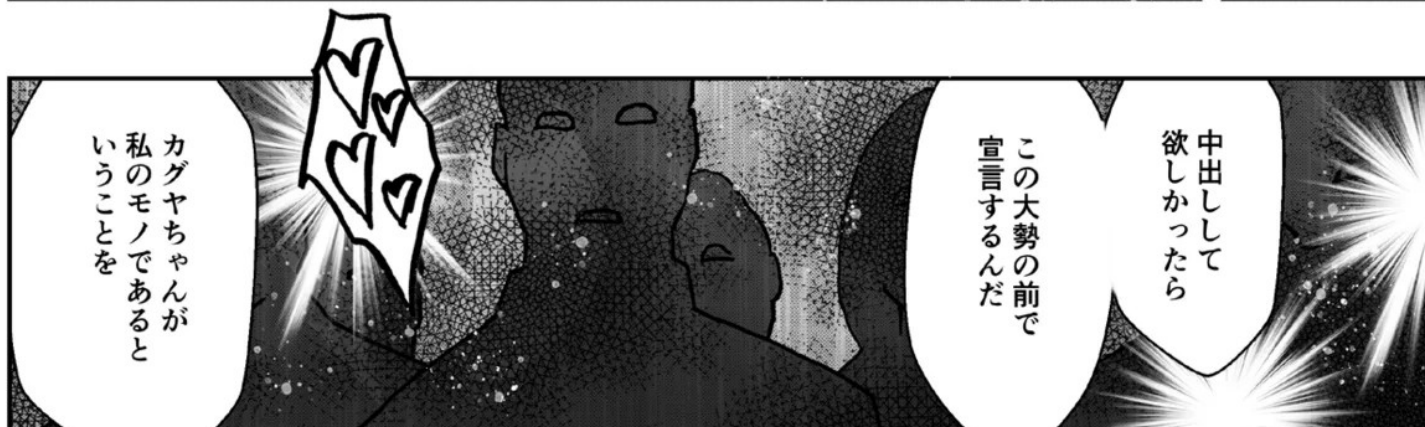
ガンガン

さあ
カグヤちゃん

精液を中に
出して欲しくて
私のところに
来たんだらう?

今 私は
人生史上
最高に興奮して
いるからね

今ならとびきり
濃いのを
ぶちまけて
あげられるよ



中出して
欲しかったら

この大勢の前で
宣言するんだ

カグヤちゃんが
私のモノであると
いうことを





わ…私は
虎道さまのモノですッ！

ナカに
出してください！

ああ……！ 来る！

今まで以上の……！！

ああ
カグヤちゃん！
イイよ！

キミは完璧で
最低なヒロインだ！





アソコが…!!

求めて…!!

止まらない!!



大勢に見られて
恥ずかしいはずなのに

目線が集中するたびに
どんどん
気持ち良くなって…!!

さあ
お待ちかねの
中出しだ

今の気分は
どうかな?
言ってごらん

あ…!!
ダメ…!!

き...気持ちいいッ♡

気持ちよすぎッ...

イクッ♡

イクイクッ♡



